

## 【様式1】

## 令和5年度 授業改善推進プラン

## 東久留米市立本村小学校 第6学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明したり文を書いたりする際に、語彙力がなく十分にできない児童が6割いる。読めない漢字も多い。十分に漢字の読み書きができていない児童は5割程度いる。</li> <li>自分の考えを整理し、分かりやすく書くことができていない児童が3割程度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の小テストを定期的に行いながら、繰り返し練習させる。</li> <li>日記などで、文を書く機会を増やす。(隔週1回程度、国語タイム等で行う。)</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>約分、通分の理解度に課題が見られる児童が4割いる。</li> <li>分数と整数の計算、分数同士のかけ算・わり算において定着している児童が3割いる一方、定着していない児童が7割いる。(ワークテスト知識・技能 平均79点)</li> <li>文章題の立式ができていない児童が4割いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の時間の最初に5分間のスキルアップタイムを設け、常に計算練習を行って四則計算を基本とした計算力の向上を図る。(ワークテスト平均80点)</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題に対して、予想を立て、解決方法を考えることに課題が見られる児童が3割いる。</li> <li>基礎知識の定着に課題が見られる児童が5割程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活経験や既習事項などを導入で提示し、予想の手助けになるような工夫をする。</li> <li>授業の始めや単元の終わりに、ワークシートを用いて基礎知識の定着を図る。(ワークテスト平均80点)</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを自ら発言する児童がクラス全体の中で3割程度いる。</li> <li>他者の意見を受け入れることに課題が見られる児童が3割いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内での意見交流から全体へ発言するなどの機会を増やし、自分の考えに自信をもたせていく。発言できる児童を6割まで伸ばす。</li> <li>グループでの交流を頻繁に行うことで、多くの意見に触れる機会を設けていく。</li> </ul>